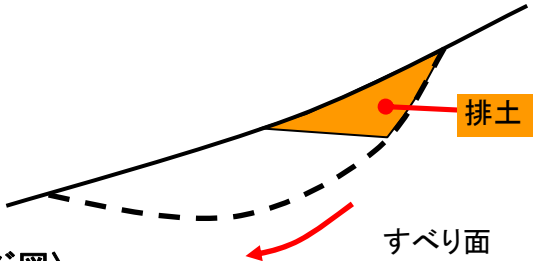


【岩手県内の対策1】(7月30日16時現在)東北森林管理局 岩手南部森林管理署

実施箇所	取組状況
①国道342号線祭時集落への迂回路  崩土除去状況(7月24日)  崩土除去、敷砂利等完了(7月28日)	・地震により孤立化した祭時(まつるべ)地区につながる国道342号線の迂回路として国有林野内の林道(桂沢林道・東桂沢林道・板川林道)を緊急整備(6月24日より暫定供用中・7月23日までに関係者や住民の車両722台が通行) ・7月24日に発生した岩手県沿岸北部地震による土砂崩壊について、27日に復旧工事を完了し、7月28日(月)より暫定供用が再開されました。 工事完了
②市野々原地区(磐井川)  事業箇所への仮設道路  ボーリング作業の様子(7月21日)	【警戒避難支援対策】 伸縮計6基設置 設置済 【応急・復旧対策】 ・亀裂に雨水が浸透するのを防止するため、ブルーシートにより地表を被覆 工事完了 ・流木による二次災害を防ぐため、倒木等処理 ・6月19日 民有林直轄地すべり防止災害関連緊急事業採択 ・7月4日 実施設計調査に着手 《今後の予定》 ・実施設計後に、排土工等に着手予定 ※排土工: 地すべり頭部の土を取り除くことにより、地すべり自体の重みを減らし、地すべりの動きを抑える工事  〈排土イメージ図〉

【岩手県内の対策2】(7月30日16時現在)東北森林管理局 岩手南部森林管理署

実施箇所	取組状況
③磐井川地区 上流  磐井川上流の土石流センサー(ワイヤーをわかりやすく示すため赤い線を画像に追加)	【警戒避難支援対策】 ・土石流センサー1基設置 設置済 【応急・復旧対策】 (東桂沢 山腹斜面の復旧対策) ・6月23日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月3日 実施設計調査に着手 (桂沢 土砂流出抑制対策) ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択
④産女川地区(磐井川)  産女川上流土石流センサー設置工事(ワイヤーをわかりやすく示すため赤い線を画像に追加)  産女川上部監視カメラ画像(7月30日 14:59)	【警戒避難支援対策】 ・土石流センサー3基設置 ・監視カメラ2機設置 設置済 【応急・復旧対策】 (産女川上流 土砂流出抑制対策) ・6月23日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月3日 実施設計調査に着手
⑤胆沢川地区  無人バックホウによる河道閉塞対策工事(7月29日)	【警戒避難支援対策】 ・土石流センサー2基設置(尿前川・大寒沢) 設置済 【応急・復旧対策】 ・7月8日 尿前川地区において、治山ダム工に着手 ※治山ダム工: 荒廃した溪流の不安定土砂を安定させるダム工 ・7月22日 無人バックホウを搬入 ・7月23日 無人バックホウにより河道閉塞箇所までの道路補修に着手 ・7月25日 無人バックホウによる河道閉塞対策工事に着手 《今後の予定》 ・尿前川の河道確保及びフトンカゴの設置

【岩手県内の対策3】(7月30日16時現在)東北森林管理局 岩手南部森林管理署

実施箇所	取組状況
⑤胆沢川地区(つづき)  無人化施工による工事状況(手前のオペレーターがリモコンで操作)(7月26日)	(前川 土砂流出抑制対策) ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 (尿前沢 土砂流出抑制対策) ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 (大寒沢 土砂流出抑制対策) ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 (北沢 土砂流出抑制対策) ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 (尿前沢 地すべり防止施設の復旧) ・7月25日 国有林野内直轄治山施設災害復旧事業採択
⑥衣川地区 	(月山 山腹崩壊地の復旧対策) ・7月25日 国有林野内直轄治山施設災害復旧事業採択
⑦林道の復旧事業	【応急・復旧対策】 ・7月29日 国有林林道4路線の林道施設災害復旧事業採択(尿前林道、小滝森林道、菅生沢林道、シラキリ沢林道)
現地調査等の結果  市野々原 伸縮計設置箇所	・磐井川・産女川・胆沢川 各地区に設置した土石流センサー、監視カメラからの情報では、現地の異常は確認されていません。(7月30日13:00現在) ・市野々原・産女川・東桂沢の各地区の現地調査(7月29日)を実施しましたが、前回に比べ、被害の拡大は確認されませんでした。 ・7月25日 岩手県沿岸北部地震の影響についてヘリコプターによる調査を行いました。岩手・宮城内陸地震の被害箇所については、新たな被害の拡大は確認されませんでした。

※ 下線部は新たな動き